

登場人物

- ・ サンタクロース（東、西、南、北）
- ・ クリスマスプレゼント製造木
- ・ トナカイ 1, 2
- ・ 天使
- ・ こども 1～12

♪讃美歌（舞台袖で歌う）

歌声とともに幕があがる。暗闇に「プレゼント製造木」の電飾が光る。

舞台中央に、大きな、光るもみの木「プレゼント製造木」、木のまわりにはかわいい天使と動物たち。4人のサンタクロース（東・西・南・北の国）が木に注文を伝え、木はプレゼントを出しては、サンタクロースに渡している。

北の国のサンタ「えーっと、あったかい手袋、赤いセーター、ビーズ・・・」

木 「はいはいはい・・・(ポコン!)

東の国のサンタ「ノートパソコン、ローラーブレード、けいたい電話に・・・ピグミンのゲームソフト!」

木 「え～～～っ! ……うー——ん、うー——ん(ポコン!)

苦しみながらうようやく出したのは、ちがう物。

木 「これでかんべんしてくださいよ・・・」

東の国のサンタ「しかし、ちがう物を持っていくと、サンタクロースなんてやっぱりいないんだっていわれてしまうし・・・」

北の国のサンタ「東の国の子どもたちが欲しがるとは、毎年値段の高いものになっていくねえ」

南の国のサンタ「これじゃあ、いくら自動プレゼント製造木があったって、わしら破産してしまうぞよ」

西の国のサンタ「苦労しますねえ。・・・えーっと、あとは、本、リボン、人形、それから・・・」

東の国のサンタ「(カードをのぞきこんで) なになに・・・お母さん、妹?」

西の国のサンタ「この子はなあ、戦争で、お母さんと妹を殺されてしまったんじゃ。

さて、何をもっていったら喜んでくれるかなあ・・・」

南の国のサンタ「おお、こうしちゃいられない! 南の国の子どもたちが待っている!!

アロハシャツとビーチサンダルは・・・あったあった! それじゃあ、わしは、お先になあ～」

他のサンタたち「(口々に) また来年年～(とか) 気をつけて～(など)」

あわてて荷物を背負い、去っていく南の国のサンタ。
東の国のサンタ・西の国のサンタも荷物をつめて、出発していく。
最後に、北の国のサンタが荷物を背負うが・・・

北の国のサンタ「あれれ？ どうしてこんなに重いんじゃ?!」

荷物を調べると、南の国のサンタのプレゼントがひとつ混じっている。

北の国のサンタ「おや?! これは・・・南の国のサンタのプレゼントだ!
うーん、こまった! わあしは南の国へ行くと、暑くて体がとけてしまうし・・・
どうしよう、どうしよう」

悩んでいる北の国のサンタ。一緒に悩むプレゼント製造木。
そこへ、歌いながら登場する3人の子どもたち。

北の国のサンタ「おお、これはいいところに・・・おおい、きみたち!
すまんが、わしの頼みをきいてもらえんか」
子ども1 「えっ! うそ! サンタ? もしかして・・・!」
子ども2・3 「まじ~~~~っ!？」
北の国のサンタ「わしは北の国のサンタクロース。実は、南の国のプレゼントが、まちがえてわしの
袋に入っていたんじゃ。わしは、暑くて南の国へは行けない。これを南の国の
サンタクロースに届けてやってくれないか」
子ども2 「えーっ! だって、これから塾に行くんだもん」
子ども1 「でもさあ、もしかしたら、お礼にたくさんプレゼントもらえるかも!」
子ども3 「おもしろそうだよ、行こうよ、行こう!」
子どもたち 「OK!!」
北の国のサンタ「いやあ、よかった、ありがとう。
このトナカイたちに案内してもらっておくれ。ちょっとなまいきだが、なんでも
知ってるトナカイなんじゃ」
こどもたち 「うん!!」

子どもたち、2頭のトナカイをひっぱって歩き出す。
手をふりながら、北の国のサンタとプレゼント製造木、退場。

トナカイ1 「いたたた・・・! そんなにひっぱらないでよ～」
トナカイ2 「まったく・・・! だからイヤなんですよ、子どもは・・・」
子ども3 「すごーい、君たちしゃべれるの!？」

トナカイ 1 「あたりまえだい！」
子ども 2 「南の国って、遠いのかなあ」
トナカイ 2 「だいじょうぶだいじょうぶ、あつという間さ」
子ども 1 「それじゃあ、しゅっぱーつ！」
全員 「おーっ！！！」

♪ぼくたち旅人 北のサンタに頼まれて
みんなで南のサンタにプレゼントを届けます

けんかをしている子どもたち（４・５）登場。

子ども 1 「あれえ、君たち、どうしたの」
子ども 4 「うるせえ、関係ねえだろう」
子ども 2 「いっしょにサンタクロースのところへ行かない？」
子ども 5 「サンタクロース？ バーカ、そんなのいるわけないじゃん」
子ども 3 「うそだと思うなら、行こうよ」
トナカイ 1・2 「はいはい、それじゃあ、しゅっぱーつ！」
全員 「おーっ！！！」

♪ぼくたち旅人 北のサンタに頼まれて
みんなで南のサンタにプレゼントを届けます
いじわるかげぐち いろいろいったけど
ほんとはいじわるしようと思っていた

泣いている子どもたち（６・７・８）登場。

子ども 4 「ストップ！ あいつらもさそってやらないか」
子ども 5 「おい、いっしょにサンタクロースにプレゼントもらいに行こうぜ」
子ども 6 「プレゼントなんかいらない。お母さんを返してほしいの」
子ども 7 「もういちど、妹に会わせて」
子ども 8 「おうちがなくなっちゃったんだ」
トナカイ 「困りましたねえ・・・」
子ども 1 「とにかくおいでよ！ しゅっぱーつ！」
全員 「おーっ！！！」

♪ぼくたち旅人 北のサンタに頼まれて
みんなで南のサンタにプレゼントを届けます
いじわるかげぐち いろいろいったけど

ほんとはいじわるしようと思っていた
大事な人を失った私は
今日も悲しい涙があふれてとまらない

つまらなそうな子どもたち（9・10・11・12）登場。

子ども9 「私たちには、自由がない」
子ども10 「毎日毎日、勉強勉強」
子ども11 「うるさい親には、もうウンザリ」
子ども12 「もっといっぱいお金がほしい」
子ども6 「ねえ、そんな顔してないで、いっしょに行かない？」
子ども7 「サンタクロースが、待ってるんだって」
トナカイ1・2 「重量オーバーだ～～！ ひええ～～！」
こども8 「さあ、がんばって！ しゅっぱーつ！」
全員 「おーっ！！！」

♪ぼくたち旅人 北のサンタに頼まれて
みんなで南のサンタにプレゼントを届けます
いじわるかげぐち いろいろいったけど
ほんとはいじわるしようと思っていた
大事な人を失った私は
今日も悲しい涙があふれてとまらない
いろんな仲間と出会ってこの旅
友達たくさん増えて楽しくなっていく

歌の間に、南の国のサンタが客席後ろ扉から、うしろむきで登場。

トナカイ1 「さっきまで、おこったり泣いたりしてたのに、ほら」
トナカイ2 「子どもっていいですねえ」
子ども1 「あっ！！ 見て！！ あれは・・・」
全員 「南の国のサンタクロース！！！！！」

ふりかえる南の国のサンタ。舞台へかけもどる。

南の国のサンタ 「おやおや、子どもたちが！ みんないったいどうしたんじゃ」
子ども2 「なに言ってんの・・・はい」（袋からプレゼントを出す）
全員 「わすれもの！！！！」
南の国のサンタ 「ありゃりゃ、うっかりしていた！ ありがとう、ありがとう」

子ども1 「あれっ？ 袋の中に、まだなにかある・・・？」

みんなが「ええ～？」「どれどれ」などのぞきこもうとすると・・・

♪ クリスマスソング（飛び出してくるたくさんのサンタたち）

南の国のサンタ「おお・・・これはこれは・・・」

子どもたち 「なに！？ なんなの！？」

南の国のサンタ「ともだち・勇気・平和・希望・自由・・・・・・・・！！

あの木にも、作れなかったプレゼントたちじゃ

こども 「ええーっ！？ どうしてそれが、袋の中に？」

こども 「もしかして、それを作ったのは・・・わたしたち？」

こども 「じゃあ、私たち、みんな・・・」

全員 「サンタクロース！！！！！」

♪ クリスマスソング（全員登場、ダンス）

こども 「わたしたちが、本当にほしかったプレゼント・・・」

こども 「あの木にも作れなかった、プレゼント・・・」

こども 「戦争で傷ついた、ともだちに」

こども 「学校にいけない、ともだちに」

こども 「だれも信じられなくなつた、ともだちに」

こども 「世界中の、ともだちに」

こども 「この歌にのせて、さあ」

こども 「プレゼントをとどけよう」

♪ 最後の歌